

済生会ニュース

平成23年7月1日発行 三重県松阪市朝日町一区15番地の6 TEL 0598-51-2626(代)/FAX 0598-51-6557
http://www.matsusaka.saiseikai.or.jp

院外版



最新型CTスキャナーのご紹介

(東芝社製 Area Detector CT アクイリオン ワン)

放射線課 上之郷 正実

本年4月、臨床機として三重県中南勢地区に初となる最新鋭のCTスキャナーを導入しましたのでご紹介致します。

■世界初。320列(640スライス)Area Detectorの有用性
東芝とNEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)が共同開発。検出素子を体軸方向に320列配置する事により、1回のスキャン(最短0.35秒)で160mmという広範囲の撮影が可能。脳・心臓の全体は勿論、肝臓も対象領域となりうる。

■主な特徴と期待される臨床応用

1. 脳や心臓等、一つの臓器を1回転で撮影できる為、Helical Scanを必要とせず造影ムラ、心臓であれば不整脈による影響(バンディングアーチファクト)が極めて少ない。
2. 造影剤注入開始から経時的に撮影する事により、アンギオ装置で撮影したような血流動態を捉えます。この技術により時間情報を加えた4次元の画像情報が提供可能であり、脳は勿論、内臓の動的解析(機能診断)、整形領域では関節の動き、また、摂食嚥下等の情報も得られると期待されています。
3. 検査による被ばくを低減。心臓では約1/4(同社64列 Helical Scan法との比較)に低減可能。安心をご提供できます。
4. 造影剤の使用量を低減。撮影時間(息止め時間も)



が短くて済む事により実現。それは副作用の低減やまた、検査費用も低く抑えられます。

5. 0.35秒という高速撮影は、安静の保てない小児の頭部検査や呼吸抑制の困難な患者さんにも、画像の乱れが殆どありません。
6. 脳梗塞や心筋梗塞など人命に関わる疾患の緊急検査の際、従来では複数の診断機器を用いて検査を行わなくてはならない場面がありました。しかし、今回導入したCT装置では、それ1台のみで診断に必要な形態と機能の検査情報を収集可能とし、検査時間を短縮。それは、一刻を争う救命救急の場に於いて真に威力を発揮します。

☆☆☆詳しくは放射線科にお問い合わせ下さい☆☆☆

「健診センターあさひ」人間ドック健診施設機能評価に合格!!

健診センターあさひ G・M 奥山 徳和
みえPETがん診断センター



日本病院会、日本人間ドック学会が平成16年より、人間ドックを実施する施設のレベルアップを図る目的で「人間ドック健診施設機能評価」をスタートさせました。運用開始から7年で認定施設も270施設を超えています。「健診センターあさひ」もこの5月に三重県下で6番目となる人間ドック健診施設機能評価の認定を受けることが出来ました。

ハイレベルの精度管理、検査機器管理、情報管理、感染対策管理を適切に行い、受診者の皆様が求めている健診、満足して頂ける健診、健康になるための健診を「健診センターあさひ」は目指してまいります。

また健診やPETについてのお問い合わせには丁寧な対応を心がけてまいります。

昨年より、済生会松阪総合病院のホームページ上からのお問い合わせやご予約まで可能になっております。

人間ドック健診施設機能評価認定を機に、「健診センターあさひ」「みえPETがん診断センター」は受診者の皆様が安心して健診を受ける事が出来る施設として、施設並びに職員のさらなるレベルアップを図ってまいりたいと思います。



